

一 妙法の事

妙法の二字は一切衆生の色心の二法なり。一代説教の中に法の字の上に妙の字を置きたる経は一経も無し。涅槃経の題号にも大般涅槃経と云ふて大の字あれども妙の字無し。但し釈籤しゃくせん一に云はく「大は只是妙なり」云云。然れども大と妙とは不同なり。同じく大なれども華嚴経の大方広仏華嚴経と云へる題号の大と涅槃経の大と天地雲泥なり。華嚴経の大は無得道の大なり。涅槃経の大は法華同醍醐味の大なり。然れども「然涅槃尚劣」と云ふ時は法華経には劣れり。此の事は涅槃経に分明に法華経に劣ると説かれたり。涅槃経に云はく「法華の中の八千の声聞、記莂を受くることを得て大菓実を成ずるが如く、秋収冬蔵して更に所作無きが如し」云云。此の文分明に我と法華経には劣れりと説かせ玉へり云云。